

競技注意事項

- (1) 本大会は、2024 年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会規定によって行う。
(2) 競技規則 TR5.2 に適合しないシューズの使用は認めない。ただし、踵より前底部の靴底が厚いフィールド競技用シューズについては TR5.2 の適用を除外する。
(3) 選手変更は、一切認めない。
- 練習について
(1) 練習は補助競技場を使用すること。但し、投てき練習は一切禁止する。
フィールド種目の練習は、招集完了後、競技役員の指示により競技場内で行う。
(2) 本競技場内での朝の練習時間は、開門から放送等で指示された時間までとする。
- 招集について
(1) 招集所は、バックスタンド南側サブトラックへの通路に設ける。
(2) 各種目の招集開始時刻・招集完了時刻はその競技の開始時刻を基準とする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始 30 分前	競技開始 20 分前
フィールド競技	競技開始 40 分前	競技開始 30 分前

- 招集の手順
 - 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受け、アスリートビブス等の点検を受ける。
(腰ナンバーカードは招集の時に競技者係から配られる。)
 - 最終点呼の代理人は認めない。ただし、2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人が最初の競技の点呼の際に競技者係に申し出ること。
 - リレーのオーダー用紙は、**招集完了時刻の 1 時間前まで**に競技者係(招集所)に提出する。
 - 当該種目を欠場する者はあらかじめ競技者係にその旨を伝えること。
- アスリートビブスは、胸部・背部ともに確実に付けること。(跳躍競技は片面でも良い。)腰ナンバーは、競技者係で配布する。競技終了後、ナンバーカード係に返却すること。
- 競技について
 - トラック競技の予選は、すべてタイムレースとする。
 - スタートはイングリッシュコマンドで行い、不正出発 1 回で失格とする。
 - トラック競技の予選において、次のラウンドへの出場かかった順位で同記録の場合
(ア) 写真を拡大して 1/1000 秒単位で優劣の判定をする。
(イ) それでも決定できない場合は、本人または代理人により抽選を行う。
 - 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。
<走高跳>男子 1m45(練習) 1m50-1m55-1m60…1m85 まで 5cm ずつ 以降 3cm ずつ
女子 1m20(練習) 1m25-1m30-1m35…1m50 まで 5cm ずつ 以降 3cm ずつ
<棒高跳> 3m00~50(練習) 3m20-3m30-3m40… 以降 10 cm ずつ
 - フィールド競技の計測基準記録は、下記のとおりとする。
天候等により、審判長の判断で変更することがある。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	やり投
男子	5 m 0 0		全員計測	2 0 m 0 0	3 0 m 0 0
女子	3 m 5 0	全員計測	全員計測	全員計測	全員計測

- 競技用具について
 - 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は競技場備え付けのものを使用する。
 - やりの検査は、競技開始 1 時間前から 10 分間、競技場南器具庫前にて行う。
- その他
 - 表彰は、各種目 3 位まで行う。該当者は、成績発表後速やかに本部まで来ること。
 - 貴重品は各自・各団体の責任で管理し、盗難に注意すること。
 - ケガ等について、応急処置は行うが、以後の責任は負わないものとする。
 - 使用した場所については、各自・各団体が清掃に努め、ゴミは各自持ち帰りとする。
 - 申込における個人情報、大会本部で厳重に管理し、本大会以外で使用することはありません。ただし、競技結果が新聞やHP等に記載されることがあります。
 - 選手は競技前、後の手洗い、手指消毒の徹底に努めること。更衣室の滞在を短時間にすること。